

~~~~~ ポスター展示発表 ~~~~~

5月31日(土)

9:50~17:15

6月1日(日)

8:40~ 9:40

討論

9:40~10:20

P-1~P-31 座長:柿川 宏(九歯大・生体材料) 2Fホワイエ

大住 伴子(九歯大・応用薬理) 2Fホワイエ

P-32~P-45 栗野 秀慈(九歯大・フロンティア) 1Fロビー

P-1 本学歯学部学生の生活実態に関するアンケート調査結果

○荒井秋晴^{1,7}、高田 豊^{2,7}、豊野 孝^{3,7}、稲永清敏^{4,7}、
後藤哲哉^{5,7}、西原達次^{6,7} 九歯大・¹総合教育、²内科、
³口腔組織、⁴生理学、⁵頭頸解析、⁶感染生物、⁷大学自己評価部会

学生の心身の健康状態、サークル(部)活動およびアルバイトなど、学生の生活実態を把握することは、教育効果の向上を図るために必要である。そこで、本学歯学部学生2~6年生の全員(489名)を対象に、平成19年4月にアンケート調査を行った。全体の平均回収率は82.8%であった。健康に不安を感じている学生は各学年ほぼ同程度の約25%で、通院している学生は低学年で高く、高学年ほど低くなる傾向(18.3%~4.2%)にあった。悩みを抱えた学生は平均27.1%で、悩みの相談相手は友人が46.6%と最も高く、大学の教職員は12.4%であった。学内・外でカウンセリングを受けている学生も、14.3%~25.7%いた。現在サークル(部)活動およびアルバイトを行っている学生は、6年生で明らかに低かったが、2~5年では前者が平均68.5%、後者が平均53.4%であった。その一方で、自主学習時間は60%~70%が1日1時間未満で、「通学に要する時間($r=0.43$)」、「サークル活動(部活)の時間($r=0.43$)」、「アルバイトをしているかいないか($r=0.56$)」、「アルバイトに費やす時間($r=0.32$)」および「アルバイトの時間帯($r=0.45$)」と正の相関が認められた。